



ザ・コンシューマー・グッズ・フォーラム (CGF)
日本サステナビリティ・ローカル・グループ (JSLG)

The Consumer Goods Forum (CGF)
– Japan Sustainability Local Group (JSLG)

CGF日本会員企業 (2018.1月現在)

CGF Japanese Members as of January 2018



- 71会員企業, 5理事企業。 71 Members, 5 Board Members.

Eat Well, Live Well.



1	アサヒグループホールディングス株式会社	26	株式会社神明	51	日立造船株式会社
2	味の素株式会社	27	株式会社セコマ	52	不二製油グループ本社株式会社
3	株式会社あらた	28	センコー株式会社	53	富士通株式会社
4	イオン株式会社	29	ソフトバンク株式会社	54	マルコメ株式会社
5	株式会社伊藤園	30	株式会社ツルハホールディングス	55	丸大食品株式会社
6	伊藤忠食品株式会社	31	テーブルマーク株式会社	56	丸紅株式会社
7	伊藤ハム株式会社	32	株式会社寺岡精工	57	株式会社 ミツカン
8	エコア株式会社	33	株式会社ドール	58	三菱商事株式会社
9	江崎グリコ株式会社	34	東洋水産株式会社	59	三菱食品株式会社
10	エスビー食品株式会社	35	東洋冷蔵株式会社	60	株式会社明治
11	オーデイス株式会社	36	株式会社ニチレイフーズ	61	森永製菓株式会社
12	花王株式会社	37	日清食品ホールディングス株式会社	62	森永乳業株式会社
13	カゴメ株式会社	38	日清フーズ株式会社	63	山崎製パン株式会社
14	加藤産業株式会社	39	日世株式会社	64	ヤマキ株式会社
15	関東屋またの食品株式会社	40	株式会社日本アクセス	65	ヤマト運輸株式会社
16	キッコーマン株式会社	41	日本酒類販売株式会社	66	株式会社山星屋
17	キリンホールディングス株式会社	42	日本水産株式会社	67	郵船ロジスティクス株式会社
18	キューピー株式会社	43	日本生活協同組合連合会	68	雪印メグミルク株式会社
19	株式会社クスリのアオキ	44	日本チェーンストア協会	69	ユニ・チャーム株式会社
20	国分グループ本社株式会社	45	日本トランスシティ株式会社	70	株式会社ローソン
21	サッポロホールディングス株式会社	46	日本ハム株式会社	71	UHA 味覚糖株式会社
22	サントリー食品インターナショナル株式会社	47	株式会社PALTAC		
23	敷島製パン株式会社	48	ハウス食品グループ本社株式会社		
24	株式会社シグマクシス	49	ハラダ製茶株式会社		
25	株式会社資生堂	50	ひかり味噌株式会社		



日本サステナビリティ・ローカル・グループ(JSLG)の設立について

The launch of Japan Sustainability Local Group

- ◆ 2017年11月、CGFは日本サステナビリティ・ローカル・グループを立ち上げました。
- ◆ In November 2017, CGF launched the Japan Sustainability Local Group (JSLG.)



JSLGメンバーについて / About the members.

- ◆ CGFにとって、サステナビリティ分野でのローカル・グループの設立は世界初です。
- ◆ This is the first time that CGF establish a local group in sustainability.

- ◆ 現在、20社から39名が参加しています。
- ◆ Currently, 20 member companies, 39 representatives join in the JSLG.

- ◆ メンバーには日本、海外を問わずCGF会員企業が参加しています。
- ◆ Global CGF members are also active in the local group.

- ◆ 一部のワーキング・グループには、非会員のステークホルダーもオブザーバーで参加しています。冷媒ワーキング・グループには、行政や機器メーカーのオブザーバー参加を予定しています。
- ◆ Some working groups welcome non-members stakeholders as observers. At the Refrigeration working group, representatives from the government and device manufactures can join.

JSLG設立の目的 JSLG's Aims-1

◆設立以前の日本会員企業の悩み

◆What were in the minds of Japanese members before the launch of JSLG.

◆国別では、日本は最大の会員数にも関わらず意思決定のプロセスへの参加が不十分である。

◆Japan as the largest category as a country in CGF membership, but having not enough engagement in the decision making process.

◆言語や時差の制約: 少数の企業しか、グローバルな活動に関わることができない。

◆Only a handful of companies can join in the global activities because of language barriers and time differences.

JSLGの目的 JSLG's Aims-2

JSLGの設立によって、できるようになること。/ What can we do with the launch of JSLG?

- ・グローバルな課題と、日本の課題 Global issues and Japan.

グローバルな課題を日本独自の状況に照らして、提案と実行をすることができるようになる。

The Japanese member companies can make proposition and implementation of global agenda with the considerations of local circumstances.

- ・日本会員企業の合意形成の場 Platform for decision makings among members.

日本の取り組みをCGFのプラットフォームを通じて、世界に発信していく。

The local group becomes a perfect forum for building consensus that can be reflected to the global CGF activities.

- ・世界中に広がるサプライチェーン Global Supply Chain Management

環境面・社会面での持続可能性が保たれているか、消費者、投資家の要求が高まっている。

Environmental and social sustainability are increasingly required by stakeholders who are not only environmental protection groups, but also institutional investors.

JSLGのガバナンス Governance Structure of JSLG

CGF理事会 Board of directors



<日本サステナビリティ・ローカル・グループ (JSLG)> Japan Sustainability Local Group (JSLG)



日本理事連絡会議
Japan Board Liaison mtg.

ワーキング・グループ
Working Groups



JSLG 冷媒ワーキング・グループ
JSLG Refrigeration Working Group

日本メンバーの冷媒に対するニーズと課題

What are the needs of the members in Japan on the issues refrigerants?

- ◆CGFの冷媒に関する決議(2016年)の日本企業における認知が十分でない。
- ◆CGF Resolution on Refrigeration is very little known among the Japanese member companies.
- ◆たとえ決議のことを知っていたとしても、世界における冷媒の動向についてよく知らない人がCSR部門には多い。
- ◆冷媒は設備投資につき、サステナビリティの問題かどうか分からない。
- ◆Even if they knew about the CGF resolution, the people from CSR may have limited understanding of global trends of refrigeration.
- ◆Refrigerants are the issues related with facility investment, not sure how it relates to environment.



もっと基本的なことから議論をスタートさせたい。
We want to discuss the issues from very basic.

ワーキング・グループの活動/Working Group Activities

- ◆ まず、冷媒を取り巻く現状を海外と国内について知る。
- ◆ First, getting to know what is the situation with refrigerants, globally and domestically.

- ◆ グローバルなCGFメンバーが決議に至った理由は？
- ◆ Why global members came to decide on the resolution?

- ◆ 将来の展望とは？ 何もしないことのリスクとは？
- ◆ What are the future prospects with refrigeration?
Is there any risks of not doing anything?

- ◆ 課題への解決方法。自然冷媒など。
- ◆ What are the solutions available, natural refrigerants etc.

- ◆ 日本で業界ごとのロードマップを策定
- ◆ Develop road maps specific to industry.

ぜひ、冷媒ワーキング・グループにご参加ください！
(業界団体、学術、機器メーカーの方はオブザーバー
参加が可能です)

If you are interested, please join with us!
(Industry association, academic, device manufactures
can join as observers.)

CGF 冷媒事例集

REFRIGERATION

CGF会員企業の冷媒についてのコミットメントとその達成



The Consumer Goods
FORUM
The Global Network Serving Wholesaler & Consumer Brands

“ ローソングループでは、「環境方針」を制定し、豊かな地球の恵みを次世代へ引き継ぐため、環境保全と企業価値向上に取り組んできました。『CO2冷媒冷凍冷蔵システム』を地球温暖化防止の重要な柱と位置付け、普及拡大を推進していきます。”



私たちの取り組み

当初、モントリオール議定書を遵守するため、先進国が2020年までにHCFCを段階的に撤廃するという規制への対応として、ローソングループでは2009年より冷媒にHCFC (R-22)を使用した機器のHFC冷媒機器への入替えを進めました。

しかし、HFCが地球温暖化への影響が大きく、欧州では既に『F-GAS規制』への取り組みを進めていることを認識し、ノンフロン化の必要性について考え始めました。そのような状況でパナソニック製のCO2冷媒冷凍機を知りました。

AEON



“ イオンは、多くのステークホルダーの皆さまとともに、持続可能な社会の実現を目指しています。取組みにあたっては、「低炭素社会の実現」、「生物多様性の保全」、「資源の有効利用」、「社会的課題への対応」を柱とし、グローバルに考え、それぞれの地域に根ざした活動を積極的に推進しています。”

状況



イオン株式会社
取締役兼
代表執行役社長
グループCEO

岡田 元也

低炭素社会の実現の取組みの一つとして、ハイドロフルオロカーボン (HFCs) が、極めて高い地球温暖化係数 (GWP) をもち、温室効果ガス排出 (GHGs) の原因であることから、段階的な削減を進めています。

新店での冷凍・冷蔵ケースに自然冷媒を導入し、地球温暖化防止に取り組んでいます。

日本語で提供しています。

ご静聴ありがとうございました。
Thank you!

ザ・コンシューマー・グッズ・フォーラムと
日本サステナビリティ・ローカル・グループのお問い合わせ先

The Consumer Goods Forum and Japan Sustainability Local Group

ザ・コンシューマー・グッズ・フォーラム日本事務所
サステナビリティ・ピラー 担当: 村田 由里
The Consumer Goods Forum, Japan Office
Sustainability Pillar Coordinator, Yuri Murata
E-mail: y.murata@theconsumergoodsforum.com